

全銀協 TIBOR の運営態勢の定期的な見直し結果について

一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関（理事長 井上 聡）（以下「当運営機関」という。）は、全銀協 TIBOR 業務規程第 48 条にもとづき、下記のとおり、全銀協 TIBOR の運営態勢の定期的な見直しを実施いたしました。なお、2024 年 12 月末でのユーロ円 TIBOR の恒久的な公表停止に伴い、現在、当運営機関が算出、公表する金融指標は「日本円 TIBOR」のみであることから、2024 年度における定期的な見直しの対象は「日本円 TIBOR」のみとしております。

その結果、日本円 TIBOR の評価対象市場の状況等において構造上の変化は観測されなかったこと、また、リファレンス・バンクの呈示レートの算出根拠の適切性に問題はないと評価したことから、現時点で日本円 TIBOR の運営態勢を見直す必要はないと判断しています。

当運営機関は、引き続き、IOSCO 原則の遵守および全銀協 TIBOR の透明性・頑健性・信頼性の維持・向上に向けて、適切に対応して参ります。

記

1. 日本円 TIBOR の評価対象市場の状況等について

日本円 TIBOR の評価対象市場（本邦無担保コール市場。以下同じ。）および関連市場の状況は、以下のとおりである。

日本円 TIBOR の評価対象市場において、リファレンス・バンクが占める取引割合は、約 6 割程度であると推計している。なお、以下の計数は、当運営機関における検証・検討のみを目的として公表統計データ等を利用して推計したものであり、計数を利用したこと起因する間接的または直接的な損害に関して一切責任を負わないことに留意いただきたい。

(1) 本邦無担保コール市場の推計市場規模（全体）	約 31.7 兆円 ¹
（ターム物合計）	約 10.7 兆円
（翌日物）	約 27.6 兆円
リファレンス・バンクが占める取引割合推計	約 58 %
（翌日物も含めて算出。預金取扱金融機関を分母として算出）	
(2) 本邦オフショア市場の推計市場規模（運用サイド）	約 0.4 兆円 ²
（調達サイド）	約 0.8 兆円
（翌日物も含めて算出）	
(3) NCD 取引の推計市場規模	約 22.9 兆円 ³
(4) 大口定期預金取引の推計市場規模	約 45.2 兆円 ⁴

¹ 日本銀行公表「わが国短期金融市場の動向—東京短期金融市場サーベイ（24/8月）」にもとづき調達サイドから推計。また、（全体）は短資会社経由の取引およびグループ外ダイレクト・ディーリング（DD）取引の合計値だが、（ターム物合計）と（翌日物）は、グループ内取引を含む計数であり、両者の合計値は（全体）と一致しない。なお、全銀協 TIBOR のテナー（公表対象期間）に翌日物はなく、実取引として参照するのはターム物のみとなるが、一部呈示レートの算出において翌日物を参照する場合もある。また、ターム物の中にも全銀協 TIBOR では参照されない年限の取引が含まれる。

² 財務省公表「オフショア勘定残高の推移（2024年7月末）」にもとづき推計。オフショア市場の特性を踏まえ、運用サイド（資産合計／預け金・コール／円貨建）・調達サイド（負債合計／預り金・コール／円貨建）両面から推計。

³ 日本銀行公表「預金・貸出関連統計（2024年1月～11月）」にもとづき推計

⁴ 日本銀行公表「預金者別預金（半期調査＜国内銀行分＞）（2024年9月末）」にもとづき推計（事業法人向けの取引のみを対象）

2. リファレンス・バンクの呈示レート of 算出根拠の状況

2024年1月4日～12月30日までの間（全245営業日）のリファレンス・バンクの呈示レートの算出根拠の状況は以下のとおりであり、第4層の専門家判断により呈示レートが算出・決定されたケースはない。

日本円 TIBOR（リファレンス・バンク 15 社）

テナー 階層	1W	1M	3M	6M	12M
第1層	93.0%	99.9%	100.0%	89.1%	62.1%
1-1層	1.5%	0.8%	0.6%	—	—
1-2層	—	—	—	—	—
1-3層	90.5%	99.1%	99.4%	89.1%	62.1%
1-4層	1.1%	—	—	—	—
第2層	0.1%	—	—	8.9%	33.1%
2-1層	—	—	—	—	—
2-2層	—	—	—	—	—
2-3層	0.1%	—	—	8.9%	33.1%
2-4層	—	—	—	—	—
第3層	6.8%	0.1%	—	2.0%	4.7%
第4層	—	—	—	—	—

ユーロ円 TIBOR（リファレンス・バンク 14 社）（参考）

テナー 階層	1W	1M	3M	6M	12M
第1層	56.3%	73.4%	71.9%	80.1%	92.4%
1-1層	—	—	0.1%	—	—
1-2層	—	—	—	—	—
1-3層	56.3%	73.4%	71.7%	80.1%	92.4%
1-4層	—	—	0.1%	—	—
第2層	28.0%	26.4%	27.6%	14.4%	2.5%
2-1層	1.1%	0.3%	—	—	—
2-2層	—	—	—	—	—
2-3層	25.3%	26.0%	27.6%	14.4%	2.5%
2-4層	1.7%	—	—	—	—
第3層	15.7%	0.3%	0.5%	5.5%	5.0%
第4層	—	—	—	—	—

（日本円 TIBOR の呈示レートの算出・決定プロセス概要）

第1層：無担保コール市場のデータ	1-1層：無担保コール市場の当日の実際の取引データ 1-2層：無担保コール市場の確約された気配値 （Committed Quotes） 1-3層：無担保コール市場の提示された気配値 （Indicative Quotes） 1-4層：過去の無担保コール市場の実際の取引データ等 ※1-1層から1-4層の順番でデータのあるところで呈示レートを算出・決定（1-1層から1-4層のデータが存在しない場合には、「第2層」に移行）。
第2層：無担保コール市場に準じるインターバンク市場のデータ	2-1層：本邦オフショア市場および銀行間 NCD 市場の当日の実際の取引データ 2-2層：本邦オフショア市場の確約された気配値 （Committed Quotes） 2-3層：本邦オフショア市場の提示された気配値

	(Indicative Quotes) 2-4層：過去の本邦オフショア市場および銀行間 NCD 市場の実際の取引データ等 ※2-1層から 2-4層の順番でデータのあるところで呈示レートを算出・決定 (2-1層から 2-4層のデータが存在しない場合には、「第3層」に移行)。
第3層：ホールセール市場を含む関連市場のデータ	・NCD 取引 (銀行間 NCD 市場に係るものを除く)・大口定期預金取引の実際の取引データ、短期国債市場・GC レポ市場・OIS 市場の気配値 ※データ間の優先順位はない。
第4層	・第1層～第3層のすべてのデータが存在しない場合に限り、実際の取引データ以外も勘案して呈示レートを算出・決定することを許容

※ユーロ円 TIBOR の呈示レートの算出・決定プロセスでは、第1層の「無担保コール市場」を「本邦オフショア市場」に、第2層の「本邦オフショア市場」を「無担保コール市場」に置き換える。

以 上